

事業概要

<概要>

本県の移動の円滑化に寄与するサービスの充実を図るため、令和2年度、県と県内市町村等で構成された「山形県地域公共交通活性化協議会」が策定した「山形県地域公共交通計画」に位置付けられている「山形県地域公共交通情報共有基盤」及び基盤の運用ガイドライン(案)を再構築するもの。

<実施方法>

地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約

<予算額>

2,900千円

<契約期間>

令和3年7月2日から令和4年2月28日まで

委託業務内容

《オープンデータのニーズ及び課題調査》

●目的

オープンデータの利用者ニーズと課題を把握し、プラットフォームに備えるべきデータを整理と運用ガイドライン案を検討する。

●ヒアリング対象

公共交通オープンデータ協議会、国内CP、MaaS事業者、県内交通事業者、大学、商業施設、病院、観光施設等10～15団体を想定

《オープンデータの活用案検討(雑駅探との混雑状況予測実証実験)》

●目的

現行のオープンデータや県保有データ、来春導入予定の交通系ICカード利用データ等活用を見据え、交通利便に寄与するサービスの可能性を探るため、検討を行う。

●実施内容

通勤通学バス利用者の利便性向上や新型コロナウイルス感染症対策としてのバス停や車内の密回避に資するため、下記路線を対象に、県が保有・収集したデータを活用し、(株)駅探がバス路線の混雑状況の計算による予測方法(アルゴリズム)を作成するもの。

<対象路線>

山形大学附属小・中学校の児童・生徒が通学のために利用する路線

●実施時期

令和3年7月21日「混雑状況予測実証実験に係る業務提携協定」締結
10～11月 実車・バス停調査によるアルゴリズム検証

《オープンデータ再整備研究会(仮)》

●目的

部局横断的に交通に係るオープンデータのあり方と今後の活用について検討

●構成員(想定)

庁内関係各課、学識経験者、関係業者、国、交通事業者等

●開催想定回数

年4回

●内容(想定)

<第1回>オープンデータに係る最近の動向、活用例の紹介、県のプラットフォームの現状と課題の共有

<第2回>ヒアリング等を踏まえたプラットフォームに備えるべきデータの整理

<第3回>オープンデータ活用案に関する取組みの報告、ガイドライン(案)の提示

<第4回>ガイドライン(案)の決定

プラットフォーム・ガイドライン案の再構築